

## 韓国においてアフリカ豚コレラが発生

令和元年9月17日、韓国の養豚場において初めてアフリカ豚コレラ（ASF）が発生しました。その後、継続的に発生が認められており、10月1日時点で9例のASFが確認されています。口蹄疫を例にみますと、2000年、2010年の国内の発生は韓国での発生後に起こっていることから、ASFについても同様のことが危惧されます。また、国が実施する空港等における検疫により、10月までに豚肉等の旅客携帯品の **72例からASF遺伝子（うち、生きたウイルス2例）** が検出されています。

今年度は、ラグビーW杯、女子ハンドボール世界選手権が熊本県で開催され、来年度は東京オリンピックが開催されます。これに伴い、海外からの多数のインバウンドが予想され、家畜伝染病の病原体の国内及び県内への侵入リスクが高い状態になることが想定されます。畜産に携わる全員が一丸となって、家畜伝染病に対する危機感を高く持ち、防疫対策を講じることが何より重要です。今後とも当所の防疫事業の御理解と御協力について何卒よろしくお願い申し上げます。

韓国のASF発生状況



2019年10月4日現在



発生が確認された行政区画



飼養豚での発生箇所

### 予防対策の重要ポイント



# 早めの寒冷対策で事故を防ぎましょう

10月に入り、朝晩が肌寒くなるとともに、日中との温度差も大きくなり、家畜はもとより人間にとっても体調管理が難しい季節です。夏の終わりから秋にかけて、特に事故率が上昇します。このことは、夏季に蓄積された疲労、急激な気温の低下及び1日における気温差などが原因として考えられます。寒冷対策は秋入りするこの時期から必要と考えられます。下記に寒冷対策の注意点を記載しますので、飼養管理の参考にいただければ幸いです。

## 1 風向きをチェック

風を直接身体に当たらないようにする。

- ・カーフハッチは、入口を風上に向けない（子牛）
- ・入口固定の場合はベニア板等を活用し、風の進路を防ぐ
- ・畜舎、ハッチ、畜房のすきま風が入る場所は全て塞ぐ

## 2 床の状況をチェック

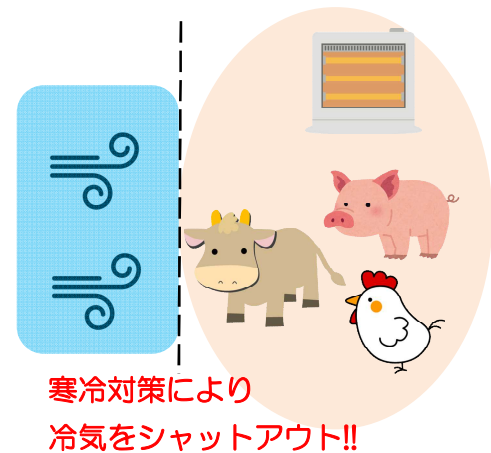
床が湿った状態で長時間放置しない。

- ・敷料は定期的だけでなく、湿っていたら交換する
- ・スノコ床では、ベニア板を敷くなどで腹冷えを防ぐ

## 3 保温器具の効果の最大化

上記の事柄に不備があると、家畜用暖房器具の効果激減

- ・保温箱では、入口にビニールの簾をつけて、暖気を逃がさない（豚、鶏）



## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地(国)	畜種	発生年月日
アフリカ豚コレラ	中国(2件)	豚	令和元年(2019年)9月1日 ~令和元年(2019年)9月30日
	韓国(9件)	豚	令和元年(2019年)9月17日 ~令和元年(2019年)9月27日

令和元年(2019年)10月1日時点

### 編集後記 (F.T)

前の職場の話になりますが、時々豚舎に寝そべってみました。なるべく相手（豚）の目線で物をみようと考えてのことですが、やはり気づかされることがあります。上から見ると綺麗な豚舎でも、豚目線から見ると……。一見キレイに見えても、豚から見てキレイとは限りません。それと同じで寒冷対策もきちんとできていると思っていても、家畜の身になると、十分ではない可能性があります。“相手の立場に立って考える”相手が人でなくても大切なことなのかもしれません。